

平成30年

目黒区教育委員会

第24回定例会会議録

(平成30年7月3日開催)

第24回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成30年7月3日

開催場所 教育委員会室

|      |               |       |
|------|---------------|-------|
| 出席委員 | 教育委員会教育長      | 尾崎 富雄 |
|      | 教育委員会教育長職務代行者 | 笹尾 敦夫 |
|      | 教育委員会委員       | 後藤 幸子 |
|      | 教育委員会委員       | 櫻井 道雄 |

|      |          |       |
|------|----------|-------|
| 出席職員 | 教育次長     | 野口 晃  |
|      | 教育政策課長   | 山野井 司 |
|      | 学校統合推進課長 | 和田 信之 |
|      | 学校運営課長   | 村上 隆章 |
|      | 教育指導課長   | 田中 浩  |
|      | 教育支援課長   | 酒井 宏  |
|      | 統括指導主事   | 寺尾 千英 |
|      | 統括指導主事   | 古舘 秀樹 |
|      | 生涯学習課長   | 馬場 和昭 |
|      | 八雲中央図書館長 | 増田 武  |

|    |  |        |
|----|--|--------|
| 書記 |  | 小野塚 幸隆 |
|    |  | 山東 隆博  |

(議事日程)

- |      |        |                                   |
|------|--------|-----------------------------------|
| 日程第1 | 議案第17号 | 目黒区個人番号の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則    |
| 日程第2 | 報告事項   | 平成30年第2回区議会定例会一般質問の答弁(要旨)について     |
| 日程第3 | 報告事項   | 平成30年度目黒区学力調査実施結果の概要について          |
| 日程第4 | 報告事項   | 平成30年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施について(案) |
| 日程第5 | 報告事項   | 平成30年度公立小中学校教員公募について              |
| 日程第6 | 報告事項   | 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について         |

資料配布

- ・通学路における危険箇所等調査について
- ・安全点検結果調査票(学校ブロック塀等)
- ・夏の子ども電話相談

(午前9時30分開会)

- 教育長 第24回目黒区教育委員会定例会を開会いたします。本日の欠席委員は中山委員、欠席職員は学校施設計画課長です。署名委員は後藤委員です。  
それでは日程第1を議題とします。

(日程第1 議案第17号 目黒区個人番号の利用に関する条例施行規則の一部を改正する規則)

- 説明員 (資料により説明)  
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。  
特にないようですので採決を行います。  
本件に賛成の委員は挙手を願います。

(全員挙手)

- 教育長 全員賛成ですので、議案第17号は原案どおり可決します。  
次に日程第2を議題とします。

(日程第2 平成30年第2回区議会定例会一般質問の答弁(要旨)について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)  
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第3を議題とします。

(日程第3 平成30年度目黒区学力調査実施結果の概要について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)  
○教育長 この件についてご質問等はありませんか。  
○委員 8ページの平均正答率が目標値より低い問題が挙がっていて、無回答が気になります。例えば無回答をした児童は、先生方は把握なさっていると思いますが、個別の対応はなさっているの

ようか。中学生も、例えば数学の問題番号12は、無回答が49.1%出ています。ですので、例えば全学校で、もう一度その問題を提示して、共有するというようなアプローチはしていますか。

○説明員 調査させていただいた内容につきましては、前年度学習した内容でございますので、あくまでも今年度は次の学年の学習内容に進んでおりますので、同様の領域が弱い部分と捉え、その領域について、より時間をかけて学習するということをさせていただいています。

○委員 学年は進んでいますが、この問題が解けなかったということは、そこがわかっていなかったということだと思います。わからないことをわからないまま進むことが一番怖いわけで、同じ問題でなくても構わないですが、同じ領域の似たような問題で理解できているかというところを確認するという方法もあると思います。

○説明員 この学力調査は、子どもたちの学力の、ある一点を切り取って調査しているので、その問題ができなかったからといって、そのところだけを絞ってやるということよりも、その領域、その学習内容が弱いと捉えて、その子どもが苦手としている部分をよりきめ細かく厚く指導するというようなやり方のほうが、学力全体が上がると捉えて、授業改善プランを作成するよう学校に伝えているところです。

○委員 なるべく、わからなかった問題をそのままに放置して進むことがないように、その工夫をぜひお願いしたいと思います。要望です。

○委員 授業改善プランですが、国語は得意だけれども、理科が苦手だというような子どもたちに対する指導の方法と、国語のいいところを伸ばしたいというような形で指導する場合の改善の仕方は異なってくると思います。1つの科目の中に、得意なものに対する指導、少し苦手な児童に対する指導という形で、多層階で書きこむ必要があるのかなと感じております。

○説明員 この授業改善プランに関しましては、昨年度1年間検討させていただきました。昨年度までは学年ごと、あるいは教科ごとに行っていましたけれども、今回からは、小学校の場合は学級ごとに担任がつくっていく、中学校の場合は各教科ごとに、学習集団ごとにつくっていくという形で、集団に応じた内容としました。

ただ、おっしゃるとおり、集団の中にも、発展的な学習がふさわしい子どもと、基礎的な学習がふさわしい子どもと、多々ある

と思いますので、このプランを作成して、状況を確認しながら、来年度に向けての改善プランのあり方を検討してまいりたいと思います。

○教育長 7ページ、質問の調査結果が4項目あります。この4項目というのは、どのような観点から選ばれたのでしょうか。

○説明員 項目数が、かがみ文の2ページのところに質問数ということで、小学校第2学年から中学校第3学年まで、24問から52問という形ではありますが、子どもたちを3つの層に分けて、肯定的な割合が多い設問というようなところで示され、その中で、とりわけこの4問については、肯定的に答えている子どもが多い、学力が高いといったことが見て取れましたので、この4つを取り上げさせていただいたところです。

○教育長 20数項目のうちの4つをここに掲げたわけですが、1、2、3の最初の3つは、児童・生徒の意識の問題のことを言っているわけです。ところが、4は、問題の解き方ということで、1、2、3と違う視点です。そのところについて、どういう考えでしょうか。

○説明員 2番、3番、4番につきましても、授業改善につながる内容であると思っております。よくわかる授業が展開されているかどうか、それから、先ほど3番で申し上げましたけども、自分の考えや思っていることを、周りの子どもたちに話すという言語活動の充実が図られているかどうか。1つの問題に対しても、複数の解を考えさせるような、授業を展開しているかどうかということで、より3番、4番は、授業の充実、活動の充実、授業の工夫が求められているところと思っておりますので、ここの部分は回答が上がるように、学校としても努めていくべきと捉えてございます。

○教育長 3番を除いて、学年が上がるにつれて、肯定的な割合が低くなっています。どう分析をされていますか。

○説明員 この3番については、言語活動の充実ということで、これは今の学習指導要領の改訂の際に、特に強調されたポイントでありまして、小学校においては特にこういった言語活動の充実、今回の学習指導要領でいうとアクティブラーニングです。主体的・対話的で深い学びが進んでいるというようなところが見て取れると思っております。

それ以外については、学年が上がるごとに、内容が増えていく

ということと、それから客観的で概念的な内容が増えてきますので、なかなか理解するのは難しくなっていくところがございます。どの程度わかるかというものについては、これはもう下がらざるを得ないのかという状況と考えてございます。

ただ、3番と4番につきましては、ある程度、その授業の改善の仕方で、もう少し肯定的な割合は増えていくのではないかなと考えてございます。

○教育長 1番の勉強が大切だと思うかどうか、できるかどうかというのは、今の答えでは足りない気もします。勉強が大切かどうかということなので、難しいかどうかということを知っているわけではなくて、大切かどうかというところの肯定感がなぜ低くなっているのでしょうか。

○説明員 学習内容が身近な生活、あるいは社会とかけ離れていくような内容が多くなっていくのではないかと、理科などは特に自分の生活する内容とは離れておりますので、子どもたちの生活とのギャップというものが、ここにあらわれていると思います。

○教育長 その他ご質問等ございますか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第4を議題とします。

(日程第4 平成30年度いじめ問題を考えるめぐろ子ども会議の実施について(案)(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はございませんか。

○委員 この目的というのは、子どもたちが本音を出し合って、いじめを予防する、そのために開かれたものだと思いますけれども、大人の参観者が増えていくと、子どもたちは、大人が期待する答えを知らないうちに言うようになり、本当に本音が出てくるのか、また、これだけの大人が参観しているときに、本音を出させる方法、手段というか、何か特別なことを行っているのでしょうか。

○説明員 参観する人数が増えると、そこで本音で語れないのではないかとということで、3年間、大人を極力参観者にしない方向で実施してまいりました。その間、学校関係者からも、色々な意見を聴取する中で、参観者がいても、いなくても、本音で語る、語らないという部分はあって、会の持ち方、進め方によって、改善できる

し、本音で語れる子は、むしろ大人がいても語れるということを検討会の中での意見としてもいただき、平成28年度から参観者を増やしていくという形になりました。

実際には、ブレインストーミングであるとか、ダイヤモンドランキング、あるいはワールドカフェというようなグループアプローチの仕方を使っていくと、子どもたちが盛んに意見を言うていくというのが見て取れていますので、こういったアプローチの仕方、これも積極的に紹介していきたいと思っています。

#### ○委員

私はこのいじめ問題を考えるめぐる子ども会議に3年間参加させていただきました。様子を見てみると、大人がいても、本音で語っているところと、そうではないところがあるかなと思って見ておりました。

先生も含めて大人は参観のみで、主役は児童・生徒であるところと書かれています。話が活性化されていないグループに、先生がアプローチをしている姿を見かけます。それをよしとするのかどうかというところが気になったところです。

あとは、本音を引き出す仕組み、仕掛けのところが重要になってくると思います。また今回は、担当教員を対象としたファシリテーション研修をなさるといふ改善が入っているので、良いと思っています。

中学校区で行うという意味を中学生に十分話していただいて、中学生だから引き出せるというところを、ファシリテーションする中学生に念押ししていただきたいと思います。これは要望です。

#### ○説明員

まず教員の介入でございますけれども、かがみ文の裏面になりますが、9の(2)の当日の意見交換の進め方のところに、昨年度から、この(2)のエのところ、意見交換が円滑に進むよう必要に応じて教員が支援するというところをつけ加えさせていただきました。これは、これまで主体が子どもたちであるから、子どもたちに委ねていきたいということで行っていましたが、グループ数が増えてくればくるほど、司会する子どもたちの能力に差が出てきているということがわかってきまして、必要に応じて先生が助言していく、引っ張っていくことは必要だろうということで、つけ加えました。ただ、あくまでも教員に委ねられているので、それが適切な場面、不適切な場面ということはあるかなと思いますので、改めて確認し、子どもたちの本音な意見が引き出せるような支援であるというところで、いま一度、考えていきたいと思

っています。

それから2点目は、中学生としてリーダーシップをとっていくということが、本区にとって非常に重要であると思いますので、昨年初めて代表の児童・生徒全員、代表学年の全児童・生徒が参加しましたので、これからは確実に小学校で体験した子どもが中学校でもう一度司会をしますので、どの中学校区でもリーダーシップを発揮すると期待しているところです。

○教育長

この子ども会議が平成18年度、スタートしたときは私も教育委員会の企画調整課長でかかわっておりましたので、この12年間、取り組みが充実し、無記名式アンケートの経年変化を見ると、目黒のいじめの実態、件数は、確実に減ってきていると体感として持っています。

このいじめ問題を考えるめぐろ子ども会議ですけれども、どの校区へ行っても、一生懸命その改善に向けて取り組んでいることは重々、熱意は伝わってきますけれども、毎年のことながら、空振りに終わっているところもあるかと思います。特に中学生のファシリテーターの一部の生徒が、なかなか小学生の意見を引き出せないというところが最大の問題とっております。

よく見ていると、小学生がリーダーシップを取っているグループもあるので、そういったところの改善は必要だと思います。それにはファシリテーターとしての技法を教える必要があると思います。中学生がリーダーシップを取るとか、理念的な指導ではなくて、具体的な指導として、ブレインストーミングは有効なわけですけれども、その後、KJ法につなげていくなどをしないと発展していかないと思います。その点が、この会議体の一番の問題点だと思いますので、改善をよろしくお願いしたいと思います。これは要望です。

○教育長

その他ご質問等ございますか。

特にないようですのでこの報告を受けました。

次に日程第5を議題とします。

(日程第5 平成30年度公立小中学校教員公募について(報告事項))

○説明員

(資料により説明)

○教育長

この件についてご質問等はございませんか。

特にないようですのでこの報告を受けました。  
次に日程第6を議題とします。

(日程第6 学校給食使用前食材等の放射性物質検査の結果について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○教育長 この件についてご質問等はありませんか。  
特にないようですのでこの報告を受けました。

資料配布

- ・通学路における危険箇所等調査について
- ・安全点検結果調査票(学校ブロック塀等)
- ・夏の子ども電話相談

○教育長 最後、私から1点だけ情報提供をさせていただきたいと思いま  
す。

昨日、目黒区立学校教科用図書調査研究委員会から、中学校の  
道徳についての調査研究委員会の報告書を受け取りました。

今後、来週から協議をし、最終的には8月7日に議決を行うス  
ケジュールになっておりますので、各委員におかれましては、よ  
ろしくお願いしたいと思います。

○教育長 以上で、本日の定例会を閉会とします。

(午前11時8分閉会)